



える夢クラシックコンサート



3月27日、える夢館で豊頃町民芸術鑑賞会『える夢クラシックコンサート2014ピアノとフルートのタペ』（町教育委員会主催）が行われました。

ピアノの紅林さやかさんは、東京音楽大学を卒業後、アンサンブルパシフィックノースの一員として、国内外で演奏活動を行っており、フルートの浅井良子さんは、札幌大谷短期大学卒業、札幌交響楽団とも共演、多数の演奏会やイベントに出演しています。この日は、フルートの名曲『アルルの女』よりメヌエットなどを演奏。また、町のシンボルであるハルニレの木をテーマにつくられた北海道歌旅座の『ハルニレの詩』も演奏し、観客から大きな拍手が送られました。

豊寿大学入学・開講式



4月21日、平成26年度豊寿大学入学・開講式がえる夢館で行われました。

今年は、4人の新入学生を迎え、文学科や手芸科、社交ダンス科など8の学科で93人の学生が、生きがいのある生活づくりや社会参加のための学習を行います。

学長の菅原教育長は、あいさつの中で「豊寿大学の活動を通して今までの豊富な経験や培ってこられた、たくさんの方の知恵を、まちづくりのために発揮して下さるよう期待します」と述べました。

式の後、オリエンテーションが行われ、1年間の活動計画などを確認し、午後から各学科に分かれて1回目の活動を行いました。

行政相談懇談会開催



4月16日、える夢館で『出前行政相談懇談会』が開かれました。懇談会では、総務省釧路行政評価分室評価監視官の羽田葵さんが行政相談制度・行政相談で改善された事例等についてスライドを見ながら紹介。

また、町の行政相談委員の石邑良雄さんが、日頃の相談活動について、相談を受け改善された事案や相談者に喜ばれた事例などを紹介し、行政相談の利用を呼び掛けました。

美しい歌声で聴衆を魅了



4月6日、える夢館で町内のサークル『コーラスえる夢』（齋藤真由美代表）主催による『陽だまりコンサート』が開かれました。

『花』『ライムライト』など、14曲が披露され、ソプラノ、メゾソプラノ、アルトに分かれた美しいハーモニーが聴衆を魅了しました。

公演は5部構成で、町内の廣澤ピアノ教室に通う生徒7人の演奏のほか、『明日があるさ』を会場全体で大合唱するなど盛り上がりしました。

大津小でサケの稚魚放流



4月23日、大津小学校の児童が校内で飼育したサケの稚魚約500匹を同校の近くの十勝川支流に放流しました。

児童を代表して長濱侑真くんが「みなさん、今日はいろいろな気持ちを込めて、サケを放流してください」と挨拶すると、5cmほどに成長したバケツの中の稚魚をコップですくい上げ、川に放流しました。

魚が泳ぎだすと、児童からは歓声があがりました。

広報とよころ
はるにれは見ていた

広報とよころ
はるにれは見ていた

議会だより

議会だより

ランドセルカバーを寄贈



4月3日、豊頃ライオンズクラブの藤田博規会長が教育委員会を訪れ、今春、町内の小学校に入学する児童の交通安全対策として、ランドセルカバーを寄贈されました。

例年、入学式を控えたこの時期に贈られており、藤田会長は「元気に楽しく、交通安全に気を付けて勉学に励んでください」と述べていました。

ランドセルカバーは黄色のビニール製で、「こうつうあんぜん」と書かれており、遠くからでも目につきやすいデザインとなっています。

カバーは入学式で学校を通じて各児童に贈られました。

第19回豊頃地域コミセンまつり



4月13日、豊頃地域コミュニティセンターで、豊頃地域づくり協議会（今村憲司会長）主催の『豊頃地域コミセンまつり』が開催されました。平成8年から19回を重ねたこのまつりは、すっかり地域に定着し、多くの方が毎年楽しみにしています。

この日は、毎年恒例となった『輪投げ大会』から始まり、牛乳やいも・かぼちゃだんごの無料提供、バザーや昼食会が行われました。

また午後からは、講師に池田警察署の署員を招き『詐欺にだまされないで』と題した出前講座が行われたほか、すみれ民舞愛好会・豊頃カラオケ会による舞台発表も行われ、訪れた皆さんは楽しいひと時を過ごしていました。

大津漁協青年部直販まつり



4月20日、大津漁協青年部（竹田真久部長）主催の第9回『大津漁協青年部直販まつり』が大津漁協荷捌所で行われ、大津前浜沖でとれた『安心・安全・そして安い』新鮮な魚介類を求め多くの買い物客が詰めかけました。

販売開始前から行列ができ、整理券を配布するほどの混雑ぶり。先着30名限定の特売セットは早々に完売し、活ホッキやタコ足、ツブなども飛ぶように売られていました。

また、この日は昨年より湧洞沼沖合で、養殖しているカキ1000個が用意され、まとめ買いする人や、その場で炭火とガスバーナーで焼いて食するなど、大いに賑わいました。

第39回乳牛ジュニアショウ



4月10日、町乳牛改良同志会（山本雅樹会長）主催の『第39回乳牛ジュニアショウ』がとよころ農業機械センターで行われ、月齢6か月から24か月未満までの未経産牛31頭が、6部門に分かれて、体格や将来性を競い合いました。

どの牛も見事で、審査にあたった帯広市大正の酪農家、村上敦俊さんも順位をつけるのに苦労していました。各部門の上位2頭で競われた最高位および準最高位は次のとおりです。（敬称略）

- 【最高位】 グレンバリー アイオーン チェアマン（門 晃嗣）
- 【準最高位】 エルムランド アポ スパーク 1831 A フタゴ（山口雄峰）

役場だより

役場だより

